



わたしたちと税

大田区立南六郷中学校 二年 望月 日回子

税金は国をより良くしていくためにとても大事なものだと思う。ここ最近消費税が上がるなど税金にあまりいい印象を持っていない人が多いと感じる。だが、税金は国を動かすための資金のうち大きな割合を占めている大切なお金だ。私たちはこのお金を払う代わりに大きな恩恵を受けている。

たとえば図書館だ。私はこの間本が読みたくていろんなことをネットで調べていた。人気な本や、最新作など気になるものをたくさん見ているが、私は学生なのですべてを買い求めるほどお金は無い。しかしネットの情報だけでも選びきれない。どうしようかと考えていたとき、私はふと図書館で借りれば良いということに気がついた。面白かったり、続きが気になったりした本を買えばいいのだ。私は買おうとしていた本が無料で読めることに改めて驚いた。そして同時にお金はどこから出ているのだろうと思った。そこで以前授業で習ったことを思い出した。これらの本や図書館という施設は税金でまかなわれているのだ。図書館の中には決して安くはない本も置いてある。豊かな生活に欠かせない本を自由に無料で読めることは、税金の代わりに私たちが受けられる恩恵のひとつだ

と思う。

他にもたくさん恩恵はある。自由に遊べる公園があることや、きれいな水、道路が整っていること、そして何より私たちが教育を受けられることだ。私はまだ学生だが、身近なところだけでもこんなにたくさんの税金が関わっている。大人になれば負担も増えるがもっとたくさん恩恵を受けられるだろう。

そんな税金が下がったり、無くなったりすれば私たちの生活は成り立たなくなってしまう。公園や道路が廃れたり、利用するのにより高いお金を取られたりしてしまうかもしれない。国全体の資金が大幅に失われるからだ。逆に税金が上がっていくともっといい恩恵が受けられる代わりに私たちの負担が増えてしまう。ちょうどいいバランスを保っているのが今ののだと思う。税金をあげてそのバランスを変えるときはそれに値する大きな理由があるのだ。無闇矢鱈に文句は言えないと思った。これからいろいろな変化をしていく税金についてしっかり理解できるように、たくさん情報を取り入れて学びたいと思う。

税金はとても身近なものである反面、知らないことも多い。私は以前消費税が十パーセントに引き上げられた理由も知らなかった。ニュースや新聞で取り上げられているはずなのに調べなかったのだ。税金がとても大切なものだとわかったからこそ、ただ文句を言うのではなく、もっとくわしく知りたいと思う。学校でももっと経済の勉強が始まるから、それと合わせてニュースや新聞も確認して税金への理解を深めていきたいと思う。